

# 長島文芸

ながしまぶんげい

## 長島短歌会

たそがれて入日あかあかと海面を照らし漁船がひとつ際立ち浮かぶ  
 向う田より落つる水音高くして入江は磯の香満ちて日暮るる  
 亡き弟が常に着てゐしその服のポケットの中の診察券あり  
 見えづらき吾の眼に村山は永遠の姿空に映つりて  
 わが記憶衰へゆけばおろおろと物を捜す日多くなりたり  
 夫と吾喜怒あざなひて五十年今日のこの日にたどりつきたり  
 父親にもたれて眠る幼な児を包むがごとく冬の陽がさす  
 朝靄の棚引く界限眺めつつ遠き日に居りし異郷手繰りぬ  
 浜田美代子  
 浜畑 松枝  
 松元 睦子  
 岩下 ち江  
 樫平 頼子  
 米尾 和子  
 坂之下典子  
 中山タマエ

## 一般作品

輝けり緑は深く海青し二千万の民躍動す  
 こつち来て早く診てやって呼ぶ声が笑顔に変わるただそれだけに  
 またひとつ齢を重ねて松飾る熟れし橙枝ごともぎて  
 鴨の掻き落としたる梅一輪マスクに入れて香りいたたく  
 楊貴妃の砂と水草に遊ぶをみるが今宵も酒肴となりて  
 何事も限らないかな難しい死ぬ迄なんだ勉強なのよ  
 だんだんと夜明け早めくナダリの地「俳句」  
 小林 貢  
 小林 如月  
 中仮屋辰子  
 後藤ヨシエ  
 母木 良平  
 町田 末則  
 宗方 清明

長島の  
歌人集まる  
広場あり

## 明神俳句会

アロエ咲く島ふところの旧任地 淵脇 護 独り職瘦せるばかりの初湯かな 肥後 広行  
 初針やゆるく釘を付け直す 二階堂妙子 不器用に生きし年月屠蘇を受く 山壽加代子  
 キビナゴの初売り来るや枘計り 大堂 早苗 威勢良く訛飛び交ふ初市場 白男川孝仁  
 日の本のひらがなあふれうたかるた 大堂 正弘 参道に残る初雪合拳す 関 佳代美  
 めでたくも悔いも増しゆく老いの春 関 喜久雄 青空に凧揚げする児今は見ず 坂口 静子  
 こんな日も新聞が来る深雪かな 迫口 君代 初日さす天草なだに波もなく 二階堂恵子

## 町立図書館のおすすめ

図書館に置いてある本の中から、おすすめを選びました。バラエティに富んだ本を紹介します。



### 定年入門

著：高橋秀実

「定年」っていったい何？本当はみんな定年に対してどんな思いを抱いているのだろうか？定年後の生き方にとまどう人、必読です。



### リンゴちゃんのいえで

作：角野栄子

お人形のリンゴちゃんは仲良しのマイちゃんとけんかをして、家をとび出してしまいました！どンドン歩いてどこいくの？

町立 指江図書館 ☎ 0996-88-6500

町立 鷹巣図書館 ☎ 0996-86-1111